

令和5年度 教育の日特集

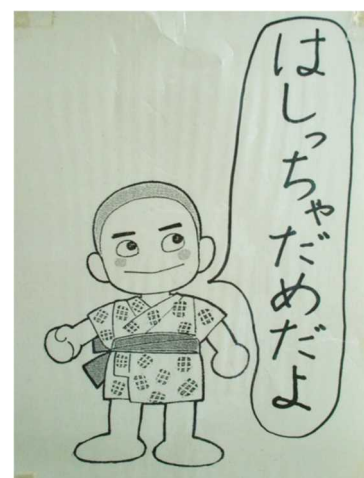
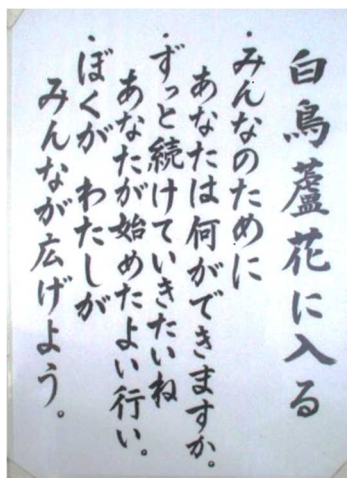
神崎市立千代田東部小学校

<校訓>

「白鳥蘆花に入る」



「渾身勉学」



下村湖人先生の心・教えを受け継ぎ、地域の方々に温かく見守られながら頑張っています。

<教育目標>

夢に向かって、気づき・考え・行動する児童の育成
～ 自分大すぎ、友達大すぎ、学校大すぎ ～

○ 目指す児童像

「元気いっぱい、輝く笑顔で登校する児童」

- ・ 得意分野をもち、仲間と未来を語る心優しい子
- ・ 意欲的で、自信をもって自己表現できる子
- ・ 試行錯誤し、根気強く挑戦できる子

○ 今年度の実践

(1) 校内研究（道徳科）の授業実践

研究主題：「自他のよさを認め合い、よりよく生きようとする児童の育成」

～自ら考え、表現する道徳教育を通して～

本年度は、これまでの道徳教育の研究を継承し、「自分ならどうするか」「どんな生き方をするか」について考えさせ、他者の考えにふれることのできる表現活動や話し合い活動を仕組み、自らの生活や考えを見つめたりするための具体的な振り返り活動を工夫したり、道徳ノートを活用したりして、自ら考え、表現する道徳科の授業を実践しています。10月までに、2回の全体授業研究協議会を実施しました。



5年生研究授業(7月)



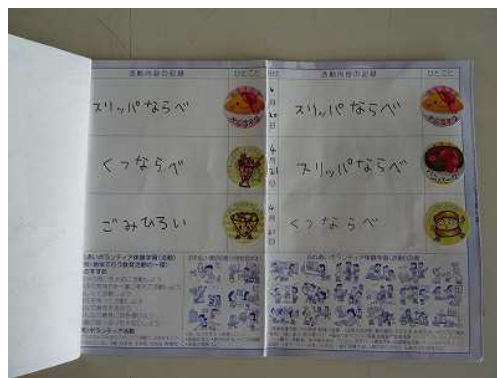
1年生研究授業(10月)

(2) ボランティア活動の推進

神崎市が推進しているボランティア活動とタイアップし、学校内外での小さな良い行いを記録に残し、みんなで認めていこうという取り組みを推進しています（神崎市クリーン作戦にも積極的に参加をしています）。



神崎市ボランティアパスポート



良い行動を確実に記録



ボランティア集会



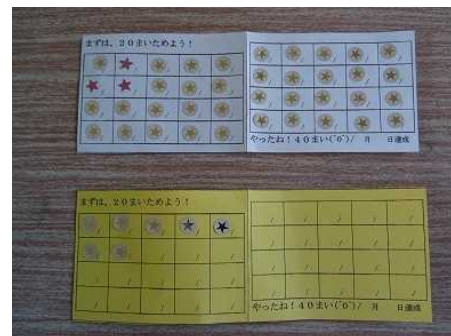
たてわり掃除

(3) 自己有用感（自分の良いところを見つけて、自信をもって伸びよう）の醸成

自分のよさを見つけ、友達のを認め、目標に向かって伸びていこうという取組を実践しています。

<スターカードの取組>

当たり前のことを当たり前でできる児童をしっかり認める、称賛することで、一人一人が自信をもち、自己有用感を高めることを願っての取り組みです。「当たり前のことを当たり前に行う」という渦を作り、良い環境の中で伸び伸びと成長できる学校作りをしています。その中で安心して自分を出せることで、いっそう自己表現力（自信）や自尊心を育てていこうと考えています。全職員が、スターシールを携帯し、いつでもどこでもシールを渡せるようにしています。



スターカードとスターシール

(4) 生活習慣の意識の共有（千代田町内小中学校共通指導事項「すみそよいあじ」）

<チャレンジ7>

- ④ スリッパならべ
- ⑤ みだしなみ
- ⑥ 無言そうじ
- ⑦ 四か条のちかい
- ⑧ いじめ防止
- ⑨ あいさつ
- ⑩ 時間を守る

この「チャレンジ7」を合言葉に、教師も児童も意識を共有し、生活規範の定着につながるよう取り組んでいます。